



し しん かい
志 真 会

滑川市議会議員

会 報 2023
8月発行

立秋が過ぎてからも厳しい残暑が続いておりますが、皆様、元気にお過ごしでしょうか。我々志真会は、暑さ寒さに関わらず皆様のお声を聴き、良い滑川市を築くために働いてまいりますので、今後ともどうぞご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお、市議会におきましては、6月度定例議会にて補正予算等の議案が原案通り全会一致で可決しました。今回は、補正予算の内容を皆様に知っていただければと思います。

令和5年6月度の補正予算額は

一般会計 4億2,775万円（内滑川市一般財源 9,006万円）となりました。話題になったものや予算額が大きなものは以下の通りです。

① 市内小中学校に対し給食費高騰分の一部補助（総額857万円）

昨年度も給食費が値上げされ、本年度も6月より給食費が値上げされることになりました。昨年度の値上げの際も、値上げ分に関しては、市からの補助をいただき実質、値上げされていない状態ではありました。今回も同様の対策は頂きましたが、実際には、昨年度値上げ分は、本年度4月より各家庭の負担となっております。

私たち会派からも、幾度も値上げになるようなことをせず、大きく値上げしてその分常に市から補助をすることを考えてはどうかと提案しております。

② 農業漁業者、福祉事業者、鉄道・バス・タクシー等交通事業者、公衆浴場事業者、医薬品配置従業者に対しての物価高騰対策費（総額4,949万円）

燃料費等の物価高騰により影響のある事業者に対して補助をするものとなっております。これまでも同様の対策は行ってきました。今回は、その中に医薬品配置従事者も含まれております。配置薬事業者に対しては1事業者5万円としておりますが、農業従事者に対しては作付面積10アールあたり1,000円となっており、格差があるのではないかとりましたが、これまでも対策を行っていることを考慮した関係と理解しました。

③ 厚生連滑川病院の小児科診療日の増枠に関わる補助金（235万円）

昨年度より、厚生連滑川病院の小児科の診療日を増やしていただくために補助をしております。今回の補助により、6月から木曜日も診察日となり、週5日の診療体制となりました。まだまだ、お子さんを持つご家庭に認知されていないかもしれませんので、皆様で広めていただければと思います。以上簡単ではございますが、令和5年6月度の補正予算の概要をお伝えさせていただきました。この他にもタラソピアの件、みのわ温泉の件等いろいろお伝えしたいことがありますのでお声がけいただけたらと思います。また、皆様のご意見等も多くお聴きしたいと思っておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

竹原正人 議員



議会で質問した内容

6月議会では、子ども達の学習環境について、中学校部活動の土日の地域移行について、コミュニティバス事業について、ふるさと龍宮まつり海上花火大会についての4項目の質問をしました。今回、子ども達の夏休み中の体験事業として、なめりかわ未来学校プロジェクト（サマースクール）の予算が計上されたことから、詳しい事業内容と次年度以降の継続性について議論をしました。また、コミュニティバス事業については、今年度中に、小型バスが導入される事になった事で、ルート的大幅の見直しを要望し、当局から前向きな答弁を頂きました。

コロナ感染症が5類に移行され、式典やイベント等が再開されています。人とのコミュニケーションを大切にし、様々な課題解決に取り組んでいきます。

若い頃の夢 夢はたくさん抱いたものの、家業の跡取りとしてレールに乗りました。

大浦豊貴 議員



最近取り組んでいる事

先日、本市の中学校に通う児童の保護者から児童がネット上で誹謗中傷を受けていると相談を受けました。教育長や教育総務課長に報告させていただき、このような課題に対して対策を図る必要性について話をさせていただきました。現代社会に生きる私たちにとって、インターネットというツールは、必要不可欠なライフラインとなってきています。私たちはその恩恵を享受し、多くの知識や情報を入手して、豊かで便利な生活を送りたいと願っています。しかしながら、インターネットによるコミュニケーションによって、人生が豊かになる一方で、その使い方や投稿の表現等によって、人権が侵害され、誹謗中傷等で心が傷つき、最悪の場合、自ら命を絶ってしまう事態を招くこともあります。そのような事態や子どもたちをはじめ市民の誰もが被害に遭わないよう、社会全体の仕組みの中で無くしていくことが重要であり、引き続き課題として取り組んでまいります。

谷崎潤一 議員



議会で質問した内容

6月議会では、地方公共団体実行計画（区域施策編）の調査費用が予算付けされ、企業や市民向けのアンケートで得た内容を、どのように活かし目標設定するのか、また再生可能エネルギーの有効活用や民間企業との関わり方などの質問を再度させて頂きました。この SDGs の取り組みは急務であり、企業や市民の皆様から頂く意見を活かして、滑川市版 SDGs 推進事業に反映していきたいと思ひます。

昨年度より議員になり、小中学校の学ぶ環境整備や不登校児童生徒に対する学びの場や滑川市独自のオンライン授業などの必要性を訴えてまいりました。この度、滑川市は、経済的理由で学習塾に通えない子供や不登校気味の児童生徒を対象とした学習支援事業「オンラインなめりかわ塾」の開講を発表しました。富山県出身の東京都に在住の大学生たちが、滑川市内小中学校の児童生徒の希望者を対象にタブレット端末などを利用したオンライン学習のサポートや進路相談をしています。

若い頃の夢 一流のラグーマン

吉森真人 議員



議会で質問した内容

大きく3つについて。

①「公共施設設備の維持管理について」昨年12月10日から源泉の供給が停止されているみのわ温泉の今後について質問。現在、温泉供給会社との話し合いの途中とのことで、はっきりとした答弁は頂けませんでした。今後も沸かし湯にて対応していくので進展があれば、報告いたします。②「小中学校への教育支援について」不登校児童生徒が、フリースクール等民間の教育機関に通う際は、市から支援金等を出してはどうかと質問。全国でも幾つかの市町村で行っているため提案。県内他市町村や全国の動向も鑑みて調査していくとのことでした。③「DX 推進について」今回の補正予算にデジタル機器等の扱いが苦手な方々への支援として718万円が計上されていたため内容を確認。メリカにて週2回及び各地区でのスマホ教室の開催や、庁舎へのデジタル支援員の配置などの予算でありました。以上ではありますが、今後とも課題解決に取り組んでまいります。

若い頃の夢 小学校低学年のころまでは、おもちゃ屋さんでした。売る方よりも作ったり修理したりする職人さんになりたかったのを覚えています。

安達真隆 議員



議会で質問した内容

6月議会では大きく2つの質問をしました。漁業振興及び漁港周辺の運営、滑川市公共施設廃止後の利活用についてです。まず、ほたるいか海上観光の今後のあり方について、海上観光は天気によって左右されやすいため、出航率を向上させる方策はなかなか見いだせないが、今後も継続したいとの答弁を貰った。また滑川市の船だけで時間をずらして2便体制で、運航して欲しいと提案いたしました。

次に公共施設の在り方について質問しました。タラソピアの廃止後の利活用について聞きましたが、まだこれからサウンディング調査をしていろんな意見を聞いて今後考えると回答をもらい、私からは、大手カフェチェーン店誘致の要望しました。最後には青雲閣の在り方について質問しました。これもまだこれからサウンディング調査などの意見を聞きながら検討すると回答いただき、こちらからは、研修施設とSLホテルの一本化を提案させていただきました。

今後スピード感をもって本事業を進めて頂く様に強く要望してまいります。

若い頃の夢 白バイ隊員

青山幸生 議員



議会で質問した内容

6月議会では ①重点事業に関する要望について ②タラソピアについて ③滑川市の民主主義について ④過去に質問した項目についての4項目を質問しました。

各々の詳細については ①本市の国道8号上島神社前交差点周辺での新たな警察署の整備について誘致の進捗の確認。北アルプス横断道路構想の実現に向けて継続要望の提案をしました。②タラソピアについてはサウンディング型市場調査の内容と廃止後の活用には、どの程度の予算規模を想定しているのか等、今後の活用方法に屋外用海洋深層水ミストとじゃぶじゃぶ池を提案致しました。③滑川市の民主主義については、間接民主制（議会制民主主義）をどのように理解しているか、滑川市の考え方はどうかを問いいただきました。また ④過去に質問した項目については市制70周年に提案したキラリンの絵本について、続編を検討していることを改めて答弁をいただいたところです。今後も予算が限られる中、創意工夫で良いアイデアを要望してまいります。

若い頃の夢 プロボクサーで成功すること。毎日、角海老宝石ジムにて練習してました。